教育目標：『心ゆたかで　たくましく　自ら学ぶ　とすっ子の育成』　令和６年度　鳥栖小だより第６号

やさしさいっぱい　元気いっぱい　やる気いっぱい

鳥栖っ子

令和６年７月４日（木）
鳥栖市立　鳥栖小学校
文責　校長　古賀　泰伸

学校合言葉
～ わ をつくろう ～

“手と手をつなぎ　心をつなぎ　わ になって”　みんなで助け合う　みんなの笑顔のために

認知症について、学びました。

現在、４年生の総合的な学習の時間では、「福祉」をテーマに様々な学びに取り組んでいます。

その中の１つの取組として６月２８日（金）に、鳥栖市高齢障害福祉課が行っている「認知症キッズサポーター養成講座」を活用して「認知症」について学びました。講師には、鳥栖地区地域包括支援センターの山﨑満実様をお迎えし、認知症がどんなものかについてお話を、また、認知症の方に対して、自分たちにできることはどんなことだろうと考える時間となりました。

子どもたちは、講師の先生の話を熱心にメモを取りながら聞いていました。

そんな子どもたちの姿勢を見ながら、私自身、安心して認知症を迎えることができるのではないかと、少々期待したところでした。

４年生の認知症に対する取組は、この講座にとどまらず、講座で学んだことを実践につなげるために、２学期に轟木町にあります「グループホーム安心とどろき」に出かけ、実際に認知症の方々とふれあうことで講座での学びを深めることになっています。

これからの学びにも期待しているところです。

「強い！」を実感した自転車大会

前号でもお知らせしておりましたが、６月２９日に大和町勤労者体育館にて行われました「交通安全子供自転車佐賀県大会」に鳥栖小学校の代表として６年生４名が参加いたしました。５月２０日から始まった練習で、始めた頃は意欲いっぱい、元気いっぱいに練習を行っていましたが、大会が近まる頃には仲間意識が深まったこと、「７連覇」という偉業を成し遂げたいという意識が強まったことからか、練習でうまくできない自分のふがいなさや、仲間に対しての申し訳なさから泣き出す子もいました。

こんな姿を見ると、代表選手の責任感の強さや仲間を大切にする心、また、次の後輩につなげようという思いの強さを感じることができ、選手たちの心の成長を実感することができました。

結果は、もうご存じの方も多いかと思いますが、団体戦優勝、個人戦は１位から４位までを独占するというすばらしい結果となりました。

今後、全国大会に向けて練習を再開することになりますが、これまで支えていただいた地域の方々や卒業生、保護者の皆様に感謝です。

私にとっては不思議！？子どもにとっては当然？

３日の登校中の出来事です。校舎西側の管理棟と花壇の間にある水たまりに子どもたちが集まって、何やら生き物を捕まえている様子。私が、「何がいるの？」と聞いてみると、返ってきた答えがなんと「オタマジャクシ！」私は「???まさか･･･」とその水たまりをのぞいてみると、確かに 1cm にも満たないようなオタマジャクシが泳いでいました。大人の私にとっては「なぜこんないつできるか分からない水たまりにオタマジャクシが･･･」と考えてしまうので、つい「なんでこんな水たまりに？」と言うと、子どもからは「当たり前やん！水があるっちゃけん」確かに！一本取られました･･･。